

岡本眸の秋の句

白桃や遠き燈下に濤あがり

盆の夜の海に道あるおもひかな

芋殻買ひ自分のことも少し話す

小豆煮る病後の暇のとり火かな

灯に頼ること増えにけり蓼咲いて